

誰もが気軽に鑑賞できる美術館を

前橋市議会第三回定例会（九月二日から二十四日）が開かれました。本会議総括質疑に、中道浪子・笠原寅一・長谷川薫議員が立ち、各常任委員会の決算審査では五人の党市議が質問し、さまざまな分野の市民の要望実現にむけ全力を挙げました。意見書

前橋市は、二〇一一年度までに中心市街地の前橋プラザ元氣21に隣接する旧ウォーク館を改装して、長年の市民要望である市立美術館の建設をめざしています。

長谷川薫議員は「学芸員体制や市民ギャラリーを充実して気軽に市民が利用し鑑賞で



市立美術館として改装予定の旧ウォーク館

きるようにすべき。また、福祉や教育充実の課題が山積しているだけに、過大な財政を投入して豪華な美術館にすべきではない。早期に美術館の整備費用などの詳細を市民に示すべき」「美術館は絵画などを収集・保存し、貴重な文化遺産を次世代に伝え普及する公共的な使命を持っている。安易に営利企業やNPOなどに運営

ひと声訪問・給食などの充実で 高齢者を孤立死から守れ

近藤好枝議員は「高齢者が地域でひとりでも安心して暮らせるセーフティネットが求められている」と指摘し、「高齢者の日常生活を継続して支援できる一日一訪問事業や高齢者緊急通報システ



グランドゴルフを楽しむ

を委託せず、市の直営にすべき」「子どもや身障者・高齢者を無料にし、何よりも市民合意で美術館を整備すべき」と求めました。

当局は「基本計画検討委員会で整備内容の詳細を検討している。運営は直営を基本にする」と答えましたが、その後開かれた検討委員会では「市の直営」が確認されませんでした。

危険な高効率ごみ発電の見直しを！（新清掃工場）

党市議団は、計画中の新清掃工場にごみを高温で溶かす危険な溶融炉方式を選定しなかったことを評価しましたが、「同施設整備基本計画（案）」が、焼却炉に高温・高圧で発電する危険な「高効率ごみ発電」を併設する計画であったため、問題点を具体的に指摘しました。

行つには、高力ローリーの廃プラスチックごみなどを積極的に集め燃やすことになり、ごみ減量化と地球温暖化防止対策と矛盾する。従来どおりのストーカ炉でよいのではないかと質問しました。

複数工場体制の維持を

同議員は「最終処分場を延命化するために焼却灰や飛灰の処理を民間委託する計画は問題。焼却灰や飛灰は、市の責任で安全に最終処理すべき」とたまたもに、「伊勢崎市民から建設地の再検討も要請されており、清

掃工場を下増田町一か所にするのは問題。市民サービスを下させないためにも、自然災害や事故発生時の対応のためにも、少なくとも六供清掃工場などを延命して複数体制を維持すべき」と計画変更を求めました。

当局は、建設計画全体について改善の姿勢を示しませんでした。



小中全教室に エアコンの設置を！

近藤好枝議員は教育福祉常任委員会で「猛暑対策として小中学校にエアコンは必要、なんとしても早期に設置を」と求めました。当局は「全市の普通教室でエアコン未設置は小・中・養護学校・幼稚園77校1,063教室。設置に必要な経費は12億から14億円で、国の交付金はその3分の1。総合的に検討したい」と答弁しました。

同委員会では副市長から「市にも保護者から要望が寄せられている。早急に検討したい」と前向きな答弁がありました。

市民要求の実現めざし奮闘します



近藤好枝議員 小林久子議員 長谷川薫議員 笠原寅一議員 中道浪子議員

※ご意見、ご要望をお寄せ下さい。

無料法律・生活相談

毎週金曜日10～12時
市議団控室 予約を
中道浪子 (261)4355
笠原寅一 (263)0688
長谷川 薫 (234)5326
小林久子 (283)6756
近藤好枝 (283)8123

日本共産党

市議団だより

No. 226 2010.10.27 発行・日本共産党 前橋市議会議員団
☎371-8601 前橋市大手町2-11-1 前橋市議会内 日本共産党控室
☎027-232-1561 FAX. 027-232-1569
☎027(224)1111 内線2341 URL <http://www.jcp-maebashi.gr.jp/>

もっと子育てしやすい環境整備を

共働き家庭の急増にこたえ 保育・学童の充実を

生活が苦しく、共働きしな
ければ暮らせない若年層が市
内でも急増しています。

中道浪子議員は、「母親が
働くためにこどもを保育所へ
入所させたいと思っても、希
望する保育所がいっぱいで待
機させられている児童が増え
ている。今年四月には一七
人にも及んでいる。待機児童
をなくすためには、保育所の
定員を増やすとともに、市立
保育所で三歳未満児を受け入
れていないところをなくすべ

き。若い人が働きながら安心
して子育てできるようにすべ
き」と求めました。

当局は「民間保育園は定員
増や増設をしているが、市立

文科省が30〜35人学級の方針化 市の学校統廃合計画の見直しを

文科省は今後八年間で教員
を増員して現在の四十人学級
を三十〜三十五人の少人数学
級にする方針を出しました。

中道浪子議
員は「文科省
の新たな方針
が実施されれ
ば、市内の各
小中学校の学
級数が増えて
くる。たとえ
ば小規模校の
総社小と元総
社北小は統合
方針となつて
いるが、三十
五人学級にな
るとそれぞれ
が適正規模校
となる。広瀬
小・天神小、

保育所は現状では定員増の考
えはない」と答弁。
送迎手段のない親は「第
二・第三希望」では遠くて通
えず、親の実情を考慮しない
答弁でした。

学童クラブの充実も

また、小学生も放課後を過
ごす学童クラブに入所できな

い子どもが増えていきます。
同議員は「入所希望の多い
クラブは指導員を増員し施設
を拡張して、入所希望のすべ
ての児童を受け入れられるよ
うにすべき」と質問。

当局は「七十名を超えれば、
第一学童クラブをつくる」と
明確に答えました。



市内幼稚園の運動会

朝倉小、上川淵小は、方針通
り二校に統合されれば二十学
級以上となり適正規模をオ
バーする。市教委がいま進め
ている学校の適正規模（十二
学級から十八学級）方針に基
づく統廃合計画を見直すべ

公園遊具の点検とトイレの整備を

公園は多くの市民が利用す
る憩いの場所です。

小林久子議員は「設置して
年数が経つ危険な遊具の早急
な改修と、遊具の定期的な点
検を実施すべき」「公園のト
イレは『もっときれいに』
『数を増やして』など市民の
声が多く寄せられている。高
齢者・障害者・乳幼児などに
対応したトイレの整備を急ぐ
べき。大胡ぐりーんふらわー
牧場の身障者トイレが故障し
ている。改修を」と求めまし
た。

公園管理事務所は「危険な
遊具やトイレ改修を直ちに行
う。トイレのバリアフリー推
進事業で整備して行く」と答
えました。



身障者トイレの故障中の張り紙

生存権を脅かす滞納整理をやめよ

年間6200件も給与や年金などを差押え

解雇、倒産、病気、所得の減
少などで、税金を納めたくも
納められず滞納する市民が増
えています。

ところが市収納課は、生活状
況を十分配慮せず市税滞納者へ
の過酷な滞納整理を強めていま
す。

長谷川薫議員は「前橋市は昨
年度、不動産の差押え以外に、
滞納者の預貯金や給与・年金な
どを六、二〇〇件も差押えまし
た。振り込まれた給料全額を市
から差押えされたために、家族

の最低限の生存権が奪われた市
民もいます。高崎市は差押えを
最後の手段としており、本市の
五分の一にとどめています。生
活を脅かすような行き過ぎた滞
納整理をただちにやめて、生活
実態をていねいに聞き取り、無
理のない分割納付を認めるべき
と改善を求めました。

当局は「今後ともていねいな
納税相談をする」と答弁しまし
たが、現在の行過ぎた滞納処分
を認め改める姿勢は示しません
でした。

へい獣処理工場の 悪臭をなくせ！

笠原寅一議員は「荒口町の群馬化成産業の悪臭は、今
年の夏も風向きで異様な悪臭により窓も開けられないひ
どい状況です。地域住民から『この悪臭は何とかならな
いか』と訴えを受けている。ただちに対策を講ずるべき
と質問しました。

当局は「今年6月の工場敷地境界における臭気指数測
定結果は基準値を大幅に超えていたので、9月に同社宛
に3度目の『施設改善勧告書』を提出した。県や市の関
係部署と連携し、地元自治会と同社との覚書の遵守状況
を見守りながら指導を強めていきたい」と答弁しました。